

点描くんま経済

日銀支店長

見聞録

■77■

「強いところを伸ばせ」。これまた、よく言われることだ。人間は成長するとき、弱いところをある程度矯正する必要があるが、なかなか強みにできることは少ないらしい。ということであれば、「強いところ」を伸ばした方が、その人の能力はさらに伸びるのではないか。

このことを思い出したのは、群馬県の有名な製粉会社と染色会社にお邪魔したからだ。まずは製粉会社。約120年前に地元農産物の運搬から始め、小麦の製粉をしている。さらに製粉だけでは

強いところを伸ばせ

企業成長の鍵身近に

く、自社で製粉した粉を使って乾麺も作っているのだ。これがまたおいしい。また、群馬県で造られているお酒の9割のお米を精米さ

れているとのこと。いつもお世話になっております。

製粉業界は大手4社で市場の8割を占めているらしい。しかも政府が管理制度を導入しているのだ。なかなか輸入小麦は差別化しにくいのだ。その中で、この会社の強みは麦、米の品質

をよく知っているということ。しかも群馬県産の麦の良さをしっかりと把握した上で、さまざまなニーズに合わせるブレンドすることによってブランド力を高めている。これこそ「強いところを伸ばせ」だ。最近では製粉技術で信州でのそば製粉に活

かし、事業を拡大している。テレビ番組で取り上げられ、製造が間に合わないとのことだ。

次は染色会社。撥水

加工技術を得意とされている企業で、今回お邪魔して驚いたのは、かなり多くの種類の染色を受注されており、自社製品についてさまざまな環境での色落ち、撥水性、生地の色などの品質や機能性をしっかりとチェックされていることだ。

お話を伺うと、こうした品質や機能性のチェックをしている中小の染色メーカーはそれほど多くないとのこと。依頼主からの発注

内容をチェックし、色落ちしやすいものを見つければ、依頼主に逆提案することもあるらしい。これまた「強いところを伸ばせ」ではないか。もともと染色という強みをさらに磨き上げることだ。最近では銅繊維のマスクも販売されている。

こうした先にお伺いしての感想。私自身の強みは何か。それは自分の胸にしまっておくこととさせていただきたい。恥ずかしいので、皆さん、自分の「強み」は何ですか？



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年

7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。